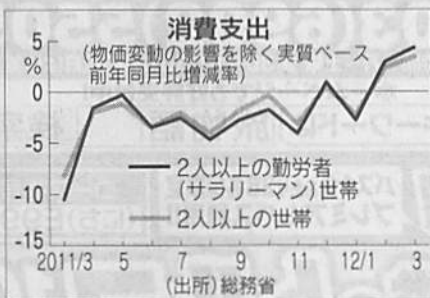


注目



早稲田大学教授

川本 裕子



▶ 主要企業の決算発表 (7日～)

回復の持続力占う好機

の経済指標を見てもプラスの材料が増えている。消費支出が増勢に転じるなど家計にもプラスの効果が波及している。内需型企業の経営者からは「業況が回復している」との声を聞くようになった。

ただ、主要企業の現状は千差万別である。とりわけ製造業のばらつきが大きいので注意が必要だ。製造業はこれまでの回復局面で輸出を増やしてきたが、今回は新興国市場などで激化する競争や先進国の低迷により、苦境からの脱出には苦勞する企業が多くなっている。成功体験に固執することなく、生産拠点のグローバルな展開を大胆に進めることができる企業ほど、立ち直りは早いはずだ。

個々の企業がどの分野や地域に重点を置き、収益にどんな影響が出ているのか。決算発表から浮かび上がる企業戦略を新たな目で分析してみたらどうだろうか。